

日本保険学会 平成21年度第5回理事会議事録

●日時：平成22年3月5日（金） 16:00～

●場所：生保協会

1. 審議事項

(1) 入退会者について

理事長より、入会者6名、退会者7名について諮られ、異議なく了承された。

(2) 平成22年度事業計画・予算（案）について

出口理事長より、平成22年度の事業計画（案）について説明の後、事務局より平成21年度決算見込み（暫定版）および平成22年度予算（案）について説明があった。

審議の結果、平成22年度から事務局が損害保険事業総合研究所に移管されること等を勘案し、予算修正も考えられることを含め了承した。

主なポイントは、次のとおり。

<平成21年度決算見込み>

編集委員会に係わる経費については、平成22年度より部会費から経常費へ勘定科目の組み換えを行う。これに伴い、21年度編集委員会費の残金については、本部勘定の雑収入で受け入れ精算する。

<平成22年度予算>

- ① 学術交流積立金取崩収入：平成20年5月理事会における承認額を計上
- ② 経済団体連合への国際会議（AIDA）派遣費補助申請額40万円を、雑収入に計上
- ③ 経常費に、平成21年度編集委員会費に見合う金額80万円を計上。

本件については、編集委員会から平成22年度については過渡期処置として予算に見合う金額を編集委員会で管理することを認めて欲しい旨の提案があり、年度末には収支残を戻入し精算することで了承された。

- ④ 部会費のうち平成21年度編集委員会費に見合う金額75万円を、経常費に振替
- ⑤ 学術交流費：平成20年5月理事会の試算額を一部修正し、141万円を計上。
- ⑥ 「保険学雑誌」e-journal化データ処理料として、22年の単年度に75万円を計上。
- ⑦ 学術交流積立金繰入額：平成20年5月理事会承認額50万円に、経済団体連合からの国際会議（AIDA）派遣費補助40万円を計上。

(3) 企画委員会について

理事長より、同日（3月5日）開催の企画委員会における審議結果の説明があり、審議した。

① 名誉会員推薦基準に関する理事会申し合わせ事項について

12月理事会で指摘があった、名誉会員推薦基準に関する理事会申し合わせ事項については、企画委員会で審議の結果、見直しの必要が認められないとの結論と

なった旨の説明があり、了承された。

② 会則改正の提案について

企画委員から提案があった「九州支部委員の創設」「購読会員名称変更」「非会員との共同研究報告」については、時間の関係から5月の理事会で継続して検討。

(4) 大会企画部会について

岡田（豊）大会企画部会長より、同日（3月5日）開催の大会企画部会における検討状況ならびに、江澤平成22年度大会委員長より 22年度大会の開催準備状況等について報告があった。

- ・設備確保状況
- ・個別報告者
- ・シンポジウム（テーマ、司会者・報告者）
- ・共通論題（テーマ、司会者・報告者）

以上の報告に対し、報告者の選任については、資格要件や報告テーマ・内容等について慎重に当たって欲しい旨の意見があった。

続いて、部会長より、24年度の開催校について日本大学で福田理事に内諾を得ている旨の説明があり、異議なく了承された。

(5) 日本保険学会賞の創設について

岡村日本保険学会賞新設検討委員会委員長より、同委員会における審議状況について、報告があったが、時間の関係から、次回5月理事会で継続検討することとした。

(6) 「保険学雑誌」編集方針の改定（案）について

井口編集委員会委員長および吉澤委員より、「保険学雑誌」編集方針の改定（案）について説明があり、異議なく了承された。

(7) ホームページ改定（案）について

小林ホームページ委員長より、日本保険学会ホームページの改修状況について説明があり、了承された。関連して、各委員会において会員あるいは公衆に提供した方が良好な情報については積極的に事務局・ホームページ委員会へ提供して貰い、コンテンツの充実に協力して欲しい旨の依頼があった。

(8) e-journal化推進の件について

小林委員長より、保険学雑誌の電子ジャーナル化の利点と方法について説明があり、積極的に推進したい旨の説明があった。

審議の結果、編集委員会とホームページ委員会の両委員会の意見に食い違いが見られるところから再度、両委員会で協議を行ったうえで、5月の理事会へ諮ることとなった。

(9) The XIIIth AIDA World Congress の件について

山野理事より、説明があり、了承された。

(10) APRIAの件について

中林評議員より、APRIAの概要ならびにANNUAL Conferenceのあり方等の説明があるとともに、APRIA2011東京大会支援の依頼があった。

続いて理事長より、APRIA2011東京大会開催に係わる具体的な支援策については後日、検討することとしたい旨の説明があり了承された。また、中林評議員の後任のAPRIA Board of Governors の推薦については、大倉真人評議員に決まった旨の説明があった。

(11) その他

理事長より庶務委員（損保業界）の交代について諮られ、異議なく了承された。

(新) 松下 泰 会員（東京海上日動火災保険・企業営業開発部・参事、
4月1日より、損害保険事業総合研究所に所属）

(旧) 三木 博生 会員（損害保険事業総合研究所マネージャー）

2. 報告事項

時間の関係から、報告事項については、今回は省略した。